



一般財団法人難病治療研究振興財団

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル
Phone:03-3580-8532 FAX:03-3580-8533 E-mail:info@jmrif-nanbyou.org
URL:http://www.jmrif-nanbyou.org

平成 30 年 5 月 22 日記者会見についての見解

平成 30 年 5 月 23 日

一般財団法人難病治療研究振興財団

去る平成 30 年 5 月 22 日に厚生労働省内記者クラブにて行った記者会見「HPV ワクチン副反応の基礎的及び臨床的研究の現状と進歩」について、本財団の見解を下記のように説明いたします。

記者会見開催の主旨

報道されている「HPV ワクチン接種後の副反応発症」の背景、特に HPV ワクチン接種との関連、病態、症状、治療方法、及び今後の対策について解説しました。

今後の方針について

本財団の「HPV ワクチン接種後の副反応発症」に関する研究の主たるものは HPV ワクチン接種による副反応を訴える患者を救済することにあります。

本財団の調査によると HPV ワクチン勧奨中止を境に新規患者は急激に減少し、2016 年は 1 名、2017 年は 0 名であることから、症状発症に HPV ワクチンが関与していることは紛れもない事実といえます。

本財団は今後、政府関連機関などと連携をとり、今回の動物モデル実験で HPV ワクチンの標的が中枢神経であることが示唆された結果を踏まえて、HPV ワクチン接種により副反応を発症し、未だ治療・回復のめどが立っていない患者救済に焦点をあて、患者の実態調査、治療法の確立、医療機関の整備を核とした臨床・調査研究を進めていきたいと思っております。

